

Screen goo install manual



STEP 1. 同梱品のチェック

キット内容	数量
ベースコートボトル1000mmL	1
トップコートボトル1000mmL	1
ウルトラブラックボトル250mmL (スクリーン黒枠用)	1
ローラーハンドル	1
ペイントローラー(ベース/トップコート用)	2
ペイントトレイ	1
黒フロックテープ	1
マスキングテープ	1
スポンジ刷毛	1



スクリーングー・キットの内容をチェックしてください。もし不足品があれば
最終ページにある連絡先にお申し付けください。直ちに不足品を発送致します

STEP 2. 塗布面のチェック

スクリーン・グー(スクリーン・コート剤)を塗る面や材質の表面がフラットで穴や傷が無いチェックして下さい。 壁の横から見ると平面性がよくわかります。



そのままスクリーン・グーが塗れる基材。

アクリル、FRP、プラスチック類、塩ビ、金属類、
ガラス、タイル、陶器、プリント合板、発泡ボード、
紙類、布類等。

プライマーを塗ればスクリーン・グーの塗付量が節約できる基材 (目の粗い素材または小さな穴の多い素材)

合板、木材、モルタル、コンクリ、布類、紙類、石類等。

市販の木材用、コンクリ用等のプライマーを
ホームセンター等でご購入下さい。

プライマーが必ず必要な基材

ビニールまたはビニール質の壁紙

市販のビニール壁用プライマーをホームセンター等で
ご購入ください

スクリーン・グーがご使用になれない基材

ポリプロピレン

STEP3. 養生をする

コート剤を塗る周囲をしっかりとシート等で養生して下さい。

コート剤を床などにたらした時はすぐぬれ雑巾などで拭き取って下さい。

(スクリーン・ゲートコート剤は水性で有害物質など含まれておりません。)



**** 塗る前に ****

ペイントローラーは必ずキットのものを御使用ください。
市販品を使用する場合は毛丈5mmまたは6mm

繊維質のローラーを御使用ください。

スポンジ質や発泡のローラーまたは中毛、長毛のローラーは使用しないで下さい。

ローラーの運びは縦方向のみです。

横方向や斜めには使わないでください。



STEP 4. ベースコートを塗る・1回目



ベースコートペイントをトレイに注いでください。(一回200mL位が適度な分量です。)
ローラーをベースコート液に浸しトレイ上で回転させながら
液をローラー全体に廻して下さい。余分な液は落としてください。

コート剤(ベースコート・トップコート)は絶対に水で薄めないで下さい。ペイントの粘度が重要です。



STEP 5. ベースコートを塗る・1回目・・・角の塗装

コーナーや隅はローラー塗りの前にスポンジ刷毛で
あらかじめ塗っておくときれいな仕上がりになります



注意) スポンジ刷毛を後で黒枠塗りにご使用になる場合は
よく水洗いしてからお使い下さい。

STEP 6. ベースコートを塗る・塗る方向

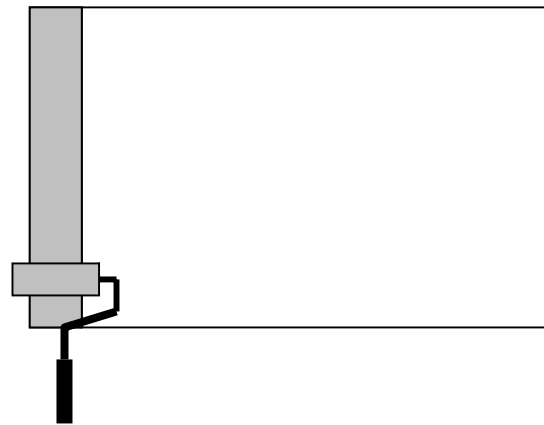


大型画面の塗りには
ローラーハンドルに
延長棒(別売)をつけると
作業が楽になります。

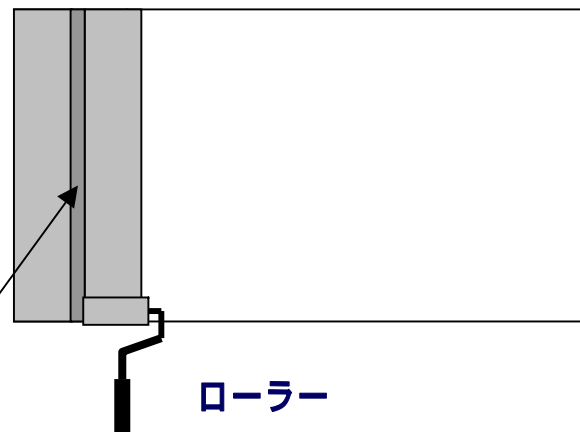
スクリーン・ゲの「塗り」の開始は
右端からでも左端からでも構いません。
ただし、塗り方向は縦のみです(ローラーを上下にころがす)
横方向や斜めにローラーをころがすと規則的な塗りパターンが
乱れよい仕上がりになりません。

STEP7. ベースコート进行塗る・塗り方

1. の帯をローラーで塗る

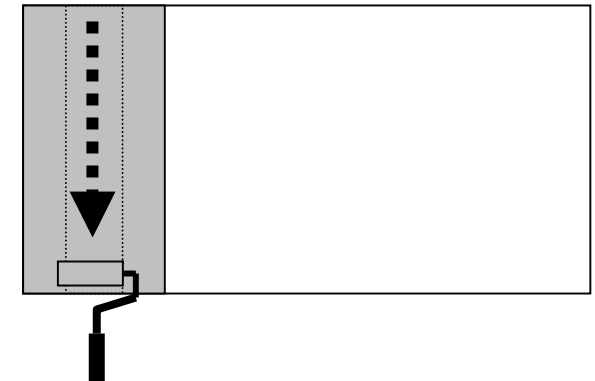


2. 2本目の帯 を2～3cmオーバーラップして塗る



オーバーラップした部分だけ
塗料がこくぬれる。

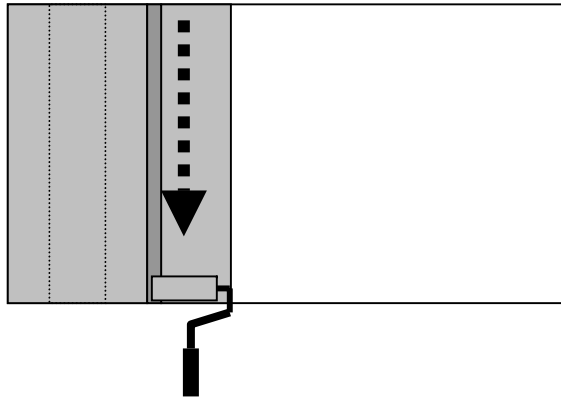
3. ペイント液をつけず と の帯の中間を上から下に1回だけ ゆっくりと転がしおろす。



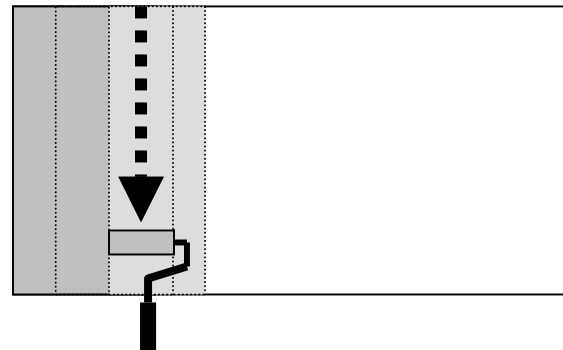
このときに塗装ムラになったように見えますが
乾燥するとこのムラは消えます

STEP 8. ベースコート进行塗り方

4. 3本目の帯 を2~3cmオーバーラップして塗り



5. ペイント液をつけず と
の帯の中间を上から下に1回だけゆっくりと転がしおろす。



6. スクリーンの端まで繰り返します

重要: 2~3分経過するとコート剂の硬化が始まります。
元に戻って塗り直すことは避けてください。

STEP 9. ベースコートを塗る・ゴミなどの確認～乾燥

塗った表面は夏みかんの皮の様なパターンになります。



ゴミや埃が付着したときは
ピン先、ピンセットなどで取り除いてください。
取り除いた後はそのままでもOKです。
* ベースコート2回目で補修されます。

注意

終了したら表面が完全に乾燥するまで
「ベースコート塗り・2回目」に入らないで下さい

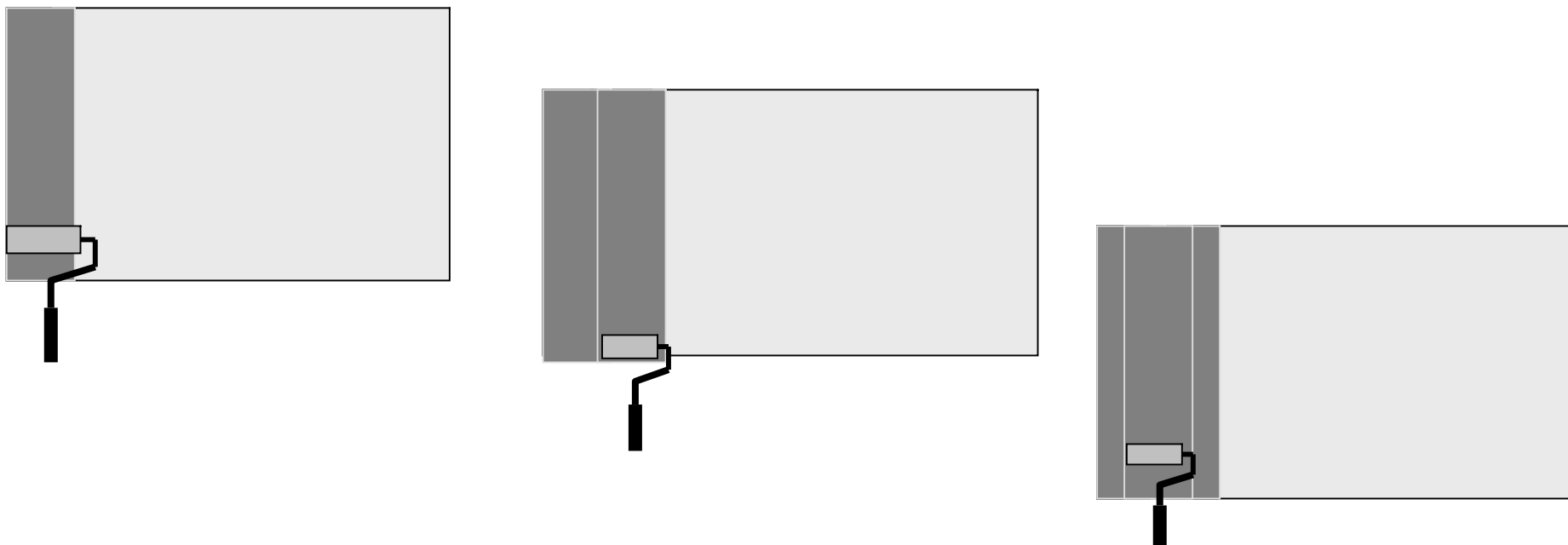
(表面の自然乾燥目安は30～40分くらいです。)

ドライヤーやヒーターを使用して
速く乾燥させることも可能です



STEP10. ベースコートを塗る・2回目

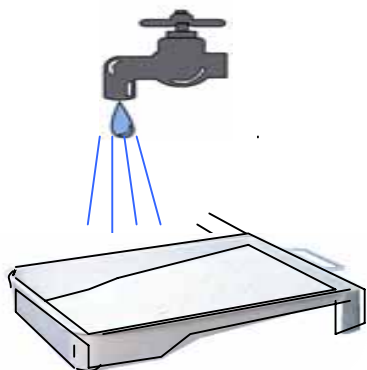
1回目と同様の手順で重ね塗りをしていきます。



終了したら表面が完全に乾燥するまで
「トップコート塗り・1回目」に入らないで下さい

STEP 11. ベースコートを塗る・終了

ベースコート2回目の塗りが終了したら
ペイントトレイをきれいに水で洗い流して下さい。

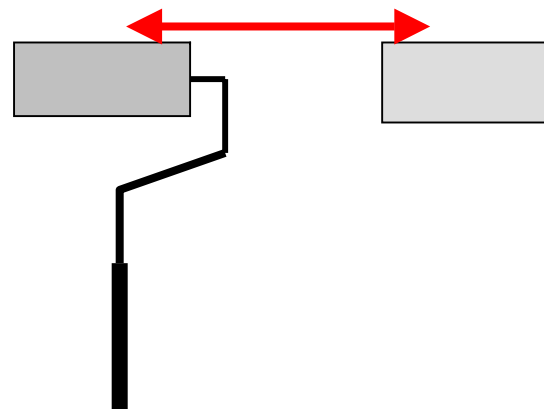


ローラーも新しいものに交換します。
ベースコートで使用したローラーはトップコートで
使用することは出来ません。

ワンポイントアドバイス

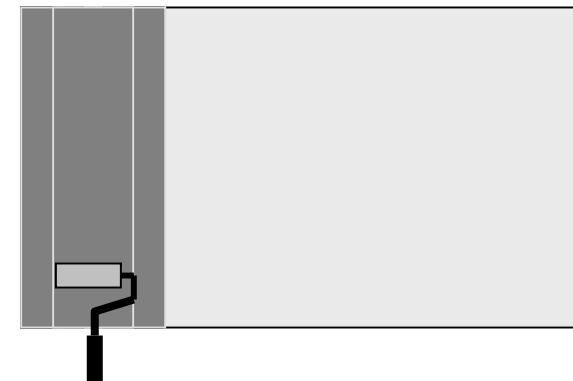
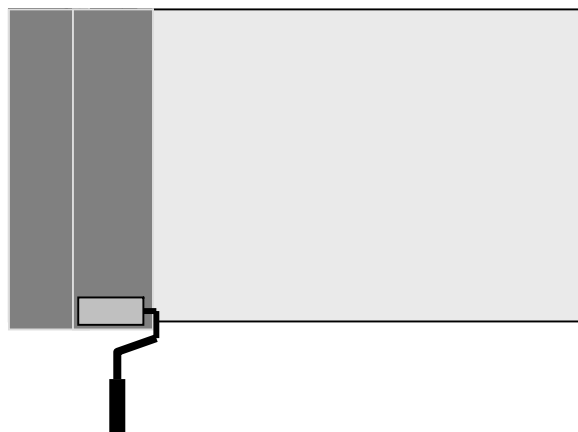
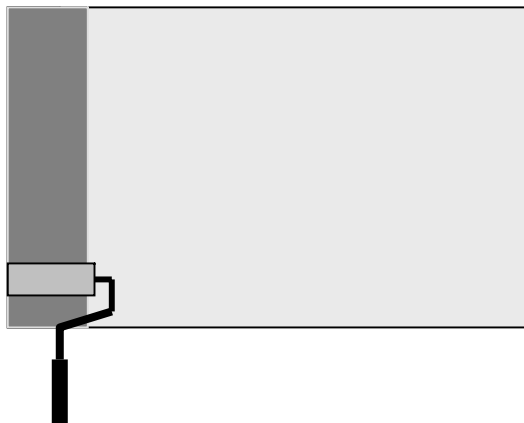
使いかけのローラーを長時間使用しないときは
ビニール袋に入れ、袋の箸をしっかりと
結んで空気が入らないようにして保管してください。

一旦洗う場合はよく水分を取り除き完全に
乾燥させてからから御使用下さい。



STEP12. トップコートを塗る・1回目

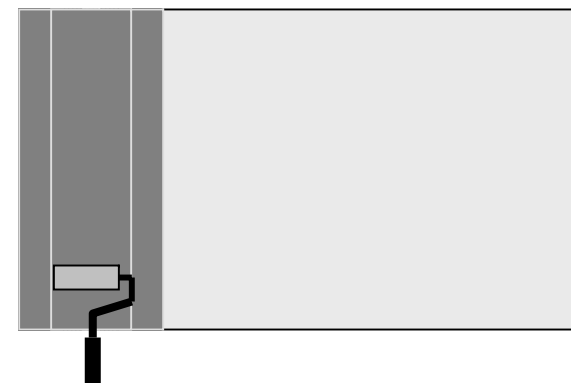
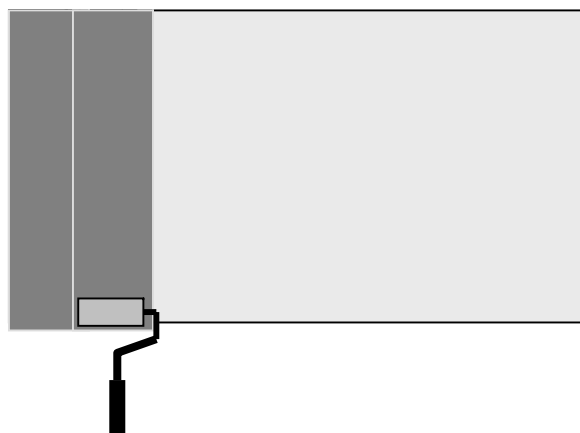
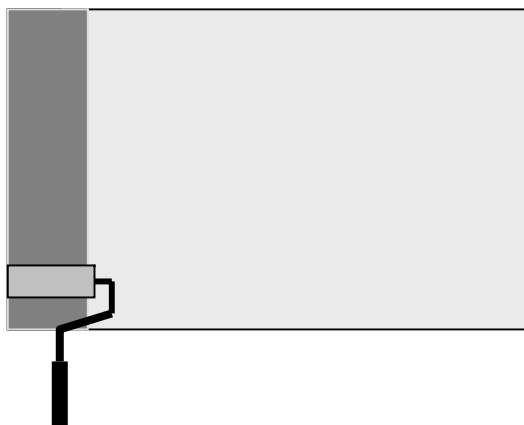
ベースコートと同様の手順で重ね塗りをしていきます。



ベースコートするときよりも塗布ムラが目立ちますが
そのまま同じ要領で塗布してください。

STEP13. トップコートを塗る・2回目

トップコートも2回の重ね塗りをしていきます。



STEP 14. Screen goo 塗布作業の完了



塗布直後

塗布直後はこのようにムラが残っています



半乾燥状態

乾燥してくるとさらにムラが目立ちます



完全乾燥

乾燥するとムラが消えてしまいます

表面は触っても乾いていますが中に水疱が残っています。完全乾燥までは自然放置で約2週間ほどかかります。

